

万博「絆」Kizuna 通信

Vol. 15 2024年7月31日 発行

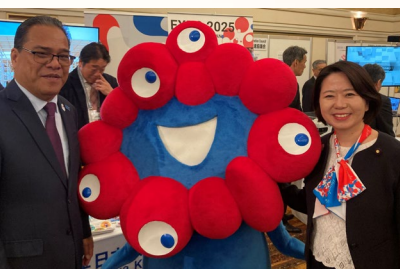
日本で開催された第10回太平洋・島サミット林官房長官夫妻主催歓迎レセプションで、万博に参加する各国首脳をはじめとする皆様と、ミyakumyakと共に絆を温めました。世界中で万博に向けて準備を進めている関係者に感謝申し上げます。今まで知らなかった国や地域の文化や歴史を学び、お互いの理解を深め、ワクワクを共有できる万博にして参りましょう。
自見はなこ国際博覧会担当大臣



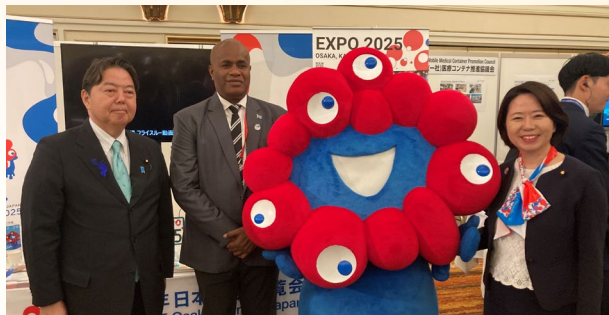
パラオ共和国 ウィップス大統領夫妻



マーシャル諸島共和国 ハイネ大統領



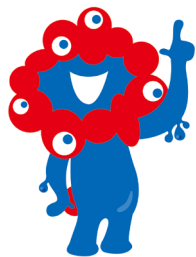
ミクロネシア シミナ大統領



林官房長官、フィジー共和国 タマレンブア次官、自見国際博覧会担当大臣



ツバル テオ首相



みんなで万博
盛り上げよう！



バヌアツ共和国 サルワイ首相



ナウル共和国
ダゲアゴ外務副大臣

~~~~~今週の週報の内容~~~~~

1. 海外パビリオンの状況

- ・ 7/24 フィリピンがコンセプト発表会実施

2. 先週の主な活動／今週以降の予定

- ・ 7/24 入場チケット購入時の本人確認方法を変更
- ・ 7/26 万博首長連合が万博会場視察
- ・ 7/27 福岡伸一プロデューサーの読書会が開催
- ・ 7/28 中島さち子プロデューサーが「いのちを考える会」のトークセッションを開催
- ・ 7/26 竹中工務店が「森になる建築」の協賛を発表
- ・ 7/26 ミyakumyakと読売テレビの「シノビー」のコラボレーション商品を発売開始
- ・ 7/29 第4回大阪・関西万博予算執行監視委員会を開催

3. 販売・募集の状況

- ・ チケット販売: 356万1635枚 (7/24 現在)

今週の大阪・関西万博 **週報** (7/23~7/29)
～ 開催まであと**257**日です! ～



1. 海外パビリオンの状況

□ 7/24 (水)、フィリピンが、先週の本国での発表会に続き、大阪市内でパビリオンのコンセプト発表会を実施。伝統工芸品である織物を用いて、フィリピンの人々の多様性や人とのつながりを表現。パビリオン外観は、籐細工を模したデザイン。外壁には200点を超える手織物を展示。



【出展】左：博覧会協会提供

右：https://www.facebook.com/bieparis/?locale=ja_JP



【現在の参加国等の状況】 (7月25日現在)

- ・ 161 各国・9 国際機関が参加表明済み。
うち、公式参加契約締結国数：119 各国・4 国際機関

うち、

- ・ 各国独自パビリオン (タイプA (47 各国)、タイプX (5 各国))：52 各国

※ タイプA 国 47 各国のうち、

- ・ 施工事業者が決まった国：43 各国
- ・ 着工済みの国：37 各国

- ・ 協会が用意する単独館 (タイプB)：17 各国

- ・ 協会が用意する共同館 (タイプC)：92 各国

2. 今週・先週の主な活動

- 7/24（水）、博覧会協会は万博 ID の本人確認について、より簡単に認証が行えるメールによるワンタイムパスワード認証方式（以下、本認証方式）を追加。本認証方式は、万博 ID に登録したメールアドレスにワンタイムパスワードが送られてくるため、万博 ID を登録するためのスマートフォン等への事前設定は不要。スマートフォン等の操作が得意でない方は、この新しい方法を利用いただくと簡単に万博 ID を登録することができる。



【出典】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240724-01/>



- 7/26（金）、大阪・関西万博を通じて地域活性化を目指す「万博首長連合」（会長：澤井宏文 大阪府松原市長）が万博会場を視察。メンバーとなっている全国津々浦々の664自治体のうち、約100の市町村長らが参加。大屋根リングに実際に登り、建設中のパビリオンを視察。その後、藤井寺市にある道明寺天満宮に場所を移して、約20か国の万博参加国の大使・総領事らとの国際交流会を実施。自見万博担当大臣、テーマ館プロデューサーの中島さち子氏も参加。

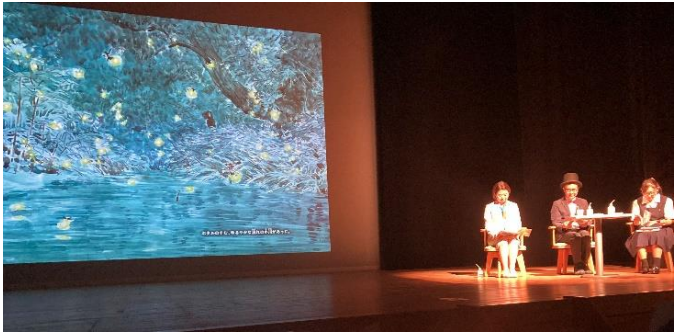


【出典】万博首長連合公式 X

自見はなこ国際博覧会担当大臣と南河内6市長
左から、吉村善美富田林市長、島田智明川内長野市長、
岡田一樹藤井寺市長、澤井宏文松原市長、
山入端創羽曳野市長、古川照人大阪狭山市長



□ 7/27（土）、岩手県北上市において、テーマ館パビリオン「いのち動的平衡館」をプロデュースする生物学者の福岡伸一氏による『いのちのつながり』をテーマにした読書会を開催。自見万博担当大臣も参加し、地元の高校生とともに絵本を朗読。参加者はいのちや自然の大切さを学び、万博への理解も深めた。



福岡プロデューサー作の「ホテルの光がつなぐもの」の読書会



福岡伸一プロデューサーによる万博紹介

□ 7/28（日）、シグネチャーパビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」をプロデュースする中島さち子氏が「いのちを考える会」を立ち上げ、大阪府吹田市の国立民族学博物館にて、第一回のトークセッションを開催。石黒浩プロデューサーからも登壇し、「いのちとは何か」「万博とは何か」などについて議論を深めた。



【出典】 https://www.expo2025.or.jp/overview/expo_pll_talks/posts/no_0112/

- 7/26（金）、竹中工務店は、未来社会ショーケース事業の一環として「森になる建築」を協賛する旨を発表。「森になる建築」は、生分解性を有し、光を透過する酢酸セルロースを構造材に、各種イベントで用いる手すきの和紙や植物を外装材に使用。「使い終われば森になる」という未来の建築の姿を提案。会場内の休憩所として活用。



【出典】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240726-03/>

- 7/26（金）、大阪・関西万博 公式キャラクター「ミヤクミヤク」と読売テレビのキャラクター「シノビー」とのコラボレーション商品を発売開始。コンビ名「シノミヤク」で漫才にも挑戦中。（シノビー公式 YouTube チャンネル「シノビーの、おへや。」で配信）



【出典】 <https://expo2025mlo.jp/news/531>
<https://www.youtube.com/watch?v=CBX74zSRjFk>

- 7/29（金）、経済産業省にて大阪・関西万博予算執行監視委員会の第4回会合を開催。博覧会協会及び経済産業省から、会場建設費におけるタイプXの転用や大屋根リングのリユースに係る費用、運営費におけるチケットの販売促進策について説明し、委員間で討議が行われた。（数日以内に議事概要を公表予定）

3. 今週の予定

- 7/31（水） タイプBパビリオン モザンビークへ引き渡し
- 8/5（月）、8/6（火） 学校関係者向け説明会

4. チケット販売の状況

- ◇ チケット販売枚数 : 356万1,635枚（2024年7月24日現在）

5. 報道等での主要な指摘事項と事実関係

(1) 協会SNSのなりすましアカウントについて

指摘事項

- 協会SNSのなりすましアカウントが支援金給付を案内する投稿が発見されたが、事実関係と協会の対応いかん。

【事実関係】

- 博覧会協会は、大阪・関西万博の公式Xになりすました大量のアカウントと、万博の名を詐称して支援金給付を案内する投稿を発見。直ちに運営会社へ通報し、なりすましアカウント削除を申請。
- 加えて、協会公式Webサイト、公式Xでの注意喚起を7/24（水）に掲載。
- なお、現時点での被害は確認されていない。

【お知らせ】 偽アカウントにご注意ください

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240724-03/>



(2) 大屋根リングの落雷対策について

指摘事項

- 大屋根リングは落雷の危険性が高く、会場周辺で雷の発生が予想される場合は来場者を大屋根に近づけないようにするとの報道があるが、事実関係如何。

【事実関係】

- 落雷の危険がある場合には、大屋根リングへ上れないようにする対策を講じ、パビリオン施設内やリング下への誘導を行い、来場者の安全性を確保する方針。
- なお、大屋根の下については、リング全周の受雷部から引下げ導線を通じ、雷の電流を安全に地中に流すことができるため、一般的な建物と同様の安全性が確保されている。
- なお、記事では当初、「雷の危険があるときは大屋根に上らせないことに加え、近づかせないようにする対策もとる」という内容であったが、博覧会協会から事実誤認であることを指摘し、「雷の危険があるときには大屋根に上らせない対策をとる」と記事内容が修正された。